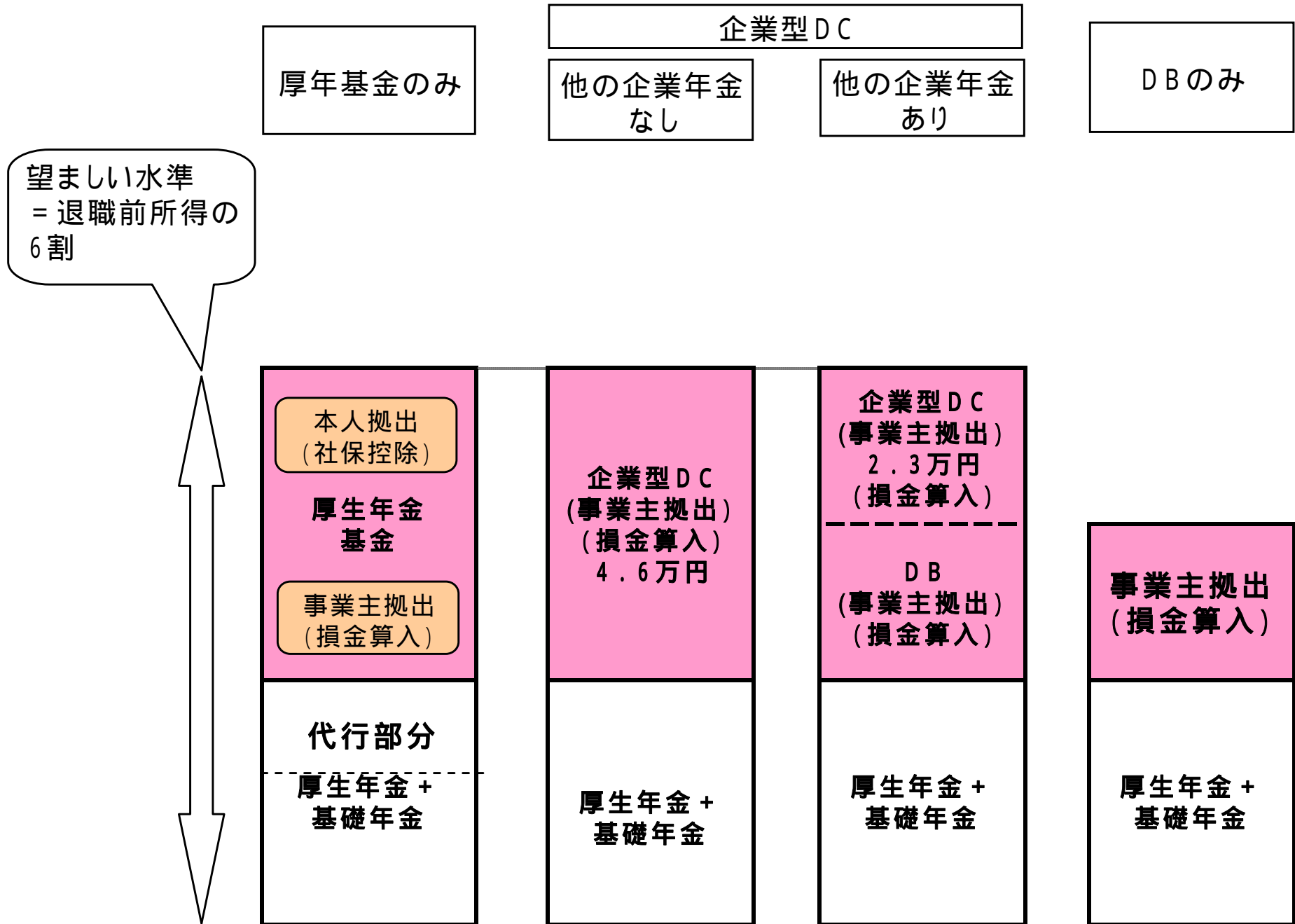


## 厚生年金保険法における被扶養配偶者に対する年金たる保険給付の基本的認識

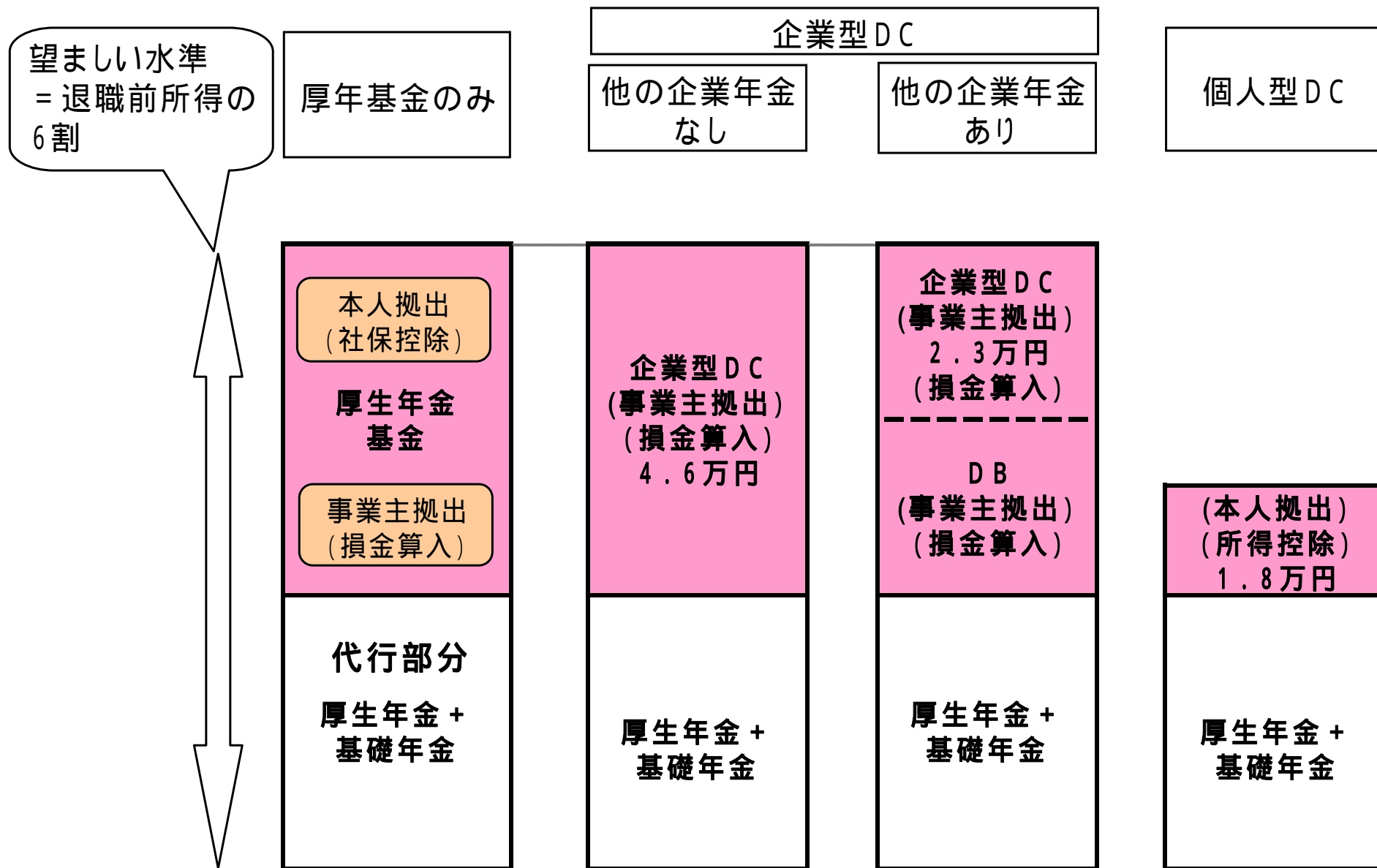
(被扶養配偶者に対する年金たる保険給付の基本的認識)

第七十八条の十三 被扶養配偶者に対する年金たる保険給付に関しては、第三章に定めるもののほか、被扶養配偶者を有する被保険者が負担した保険料について、当該被扶養配偶者が共同して負担したものであるという基本的認識の下に、この章の定めるところによる。

# 厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金の比較図



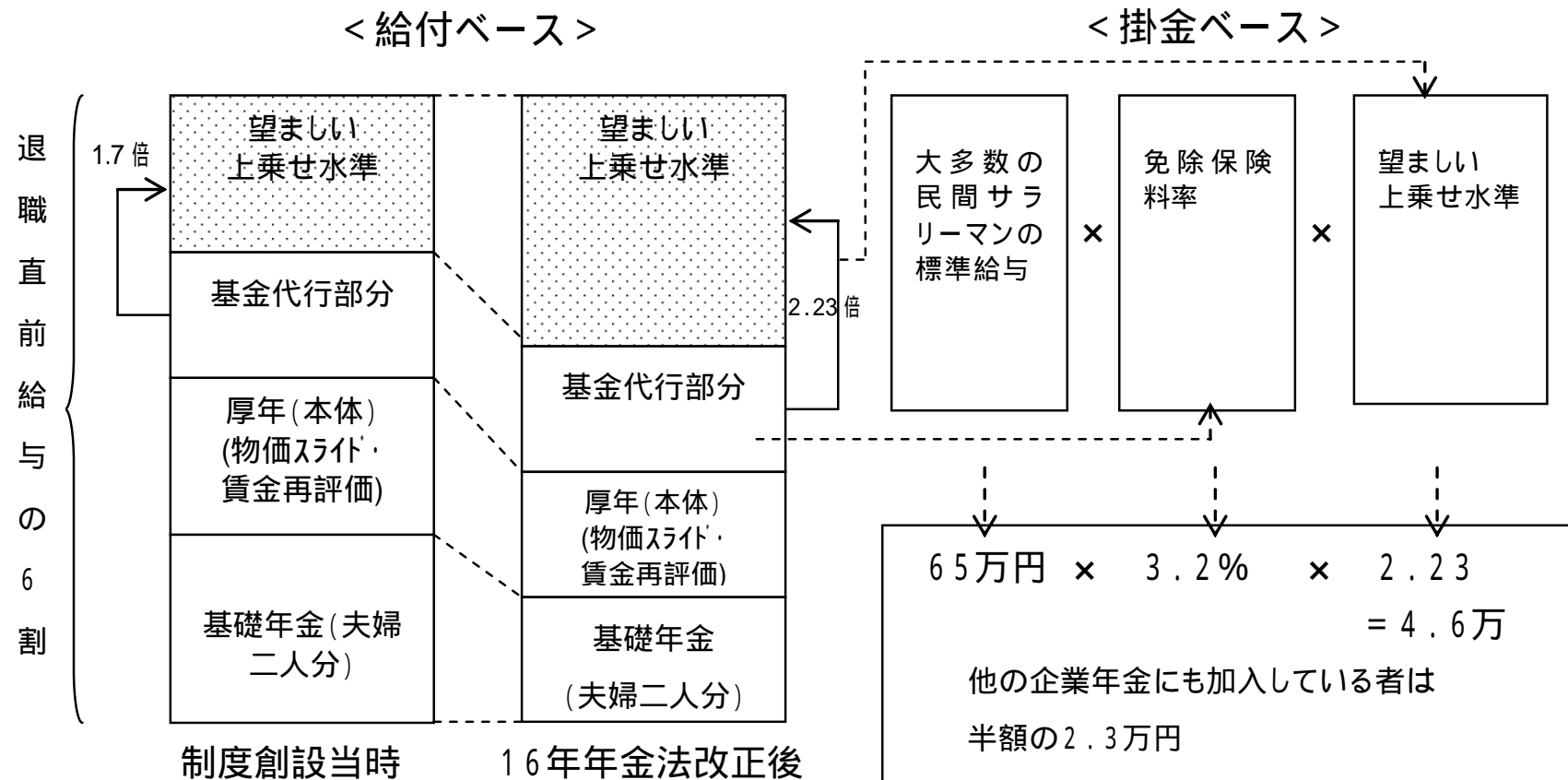
# 確定拠出年金の加入者別の拠出限度額の比較図



# 企業型確定拠出年金の拠出限度額設定の考え方

厚生年金基金の上乗せ部分の望ましい給付水準(基礎年金(夫婦二人分)・厚生年金と合わせて退職直前給与水準の6割程度に相当する水準)に相当するものが確保できるように、拠出限度額を設定。

【 制度創設当時: 3.6万円/月      現行: 4.6万円/月 】



## 厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金の掛金の状況

《厚生年金基金（平成16年度決算）》

上乗せ掛金 (加入員1人当たり月額)	累積割合
0～1万円	80.3%
1～2万円	92.9%
2～3万円	96.6%
3～4万円	98.0%
4～5万円	98.6%
5万円以上	100%

《確定給付企業年金（平成17年度中決算）》

加入員1人当たり 掛金月額	累積割合
0～1万円	30.9%
1～2万円	71.1%
2～3万円	89.9%
3～4万円	95.9%
4～5万円	98.3%
5万円以上	100%

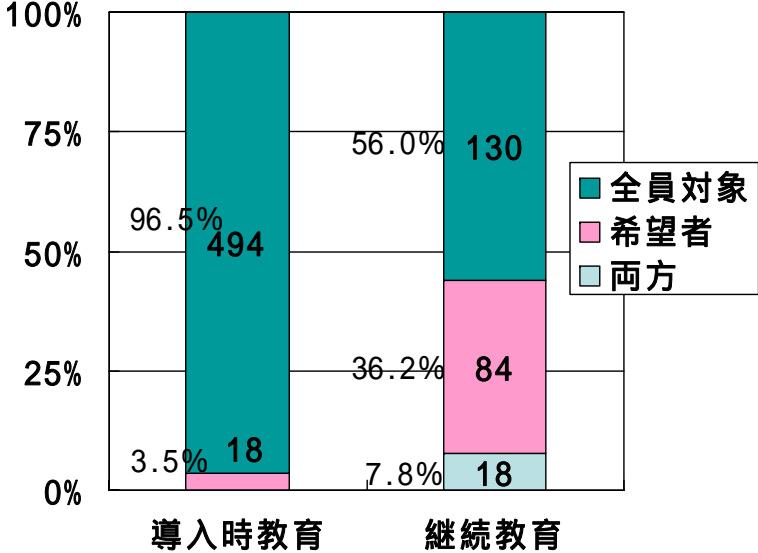
注) 平成17年度に事業年度末を迎えた事業報告書を集計

《確定拠出年金（平成17年度業務報告）》

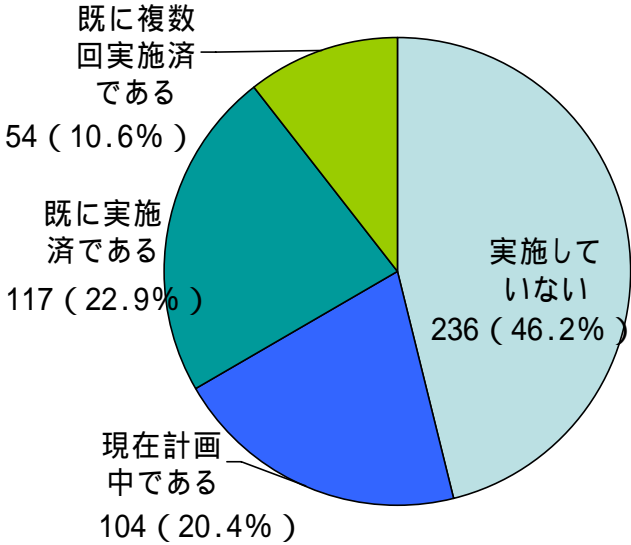
加入員1人当たり 掛金月額	累積割合
0～1万円	48.1%
1～2万円	81.1%
2～3万円	92.8%
3～4万円	98.4%
4～4.6万円	100%

# 投資教育の実態

< 投資教育の対象者 >



< 継続教育の実施状況 >

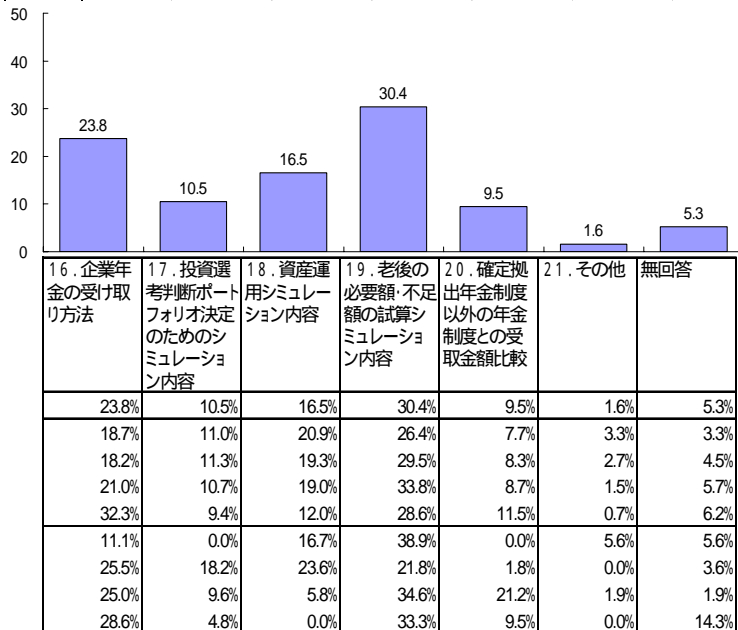
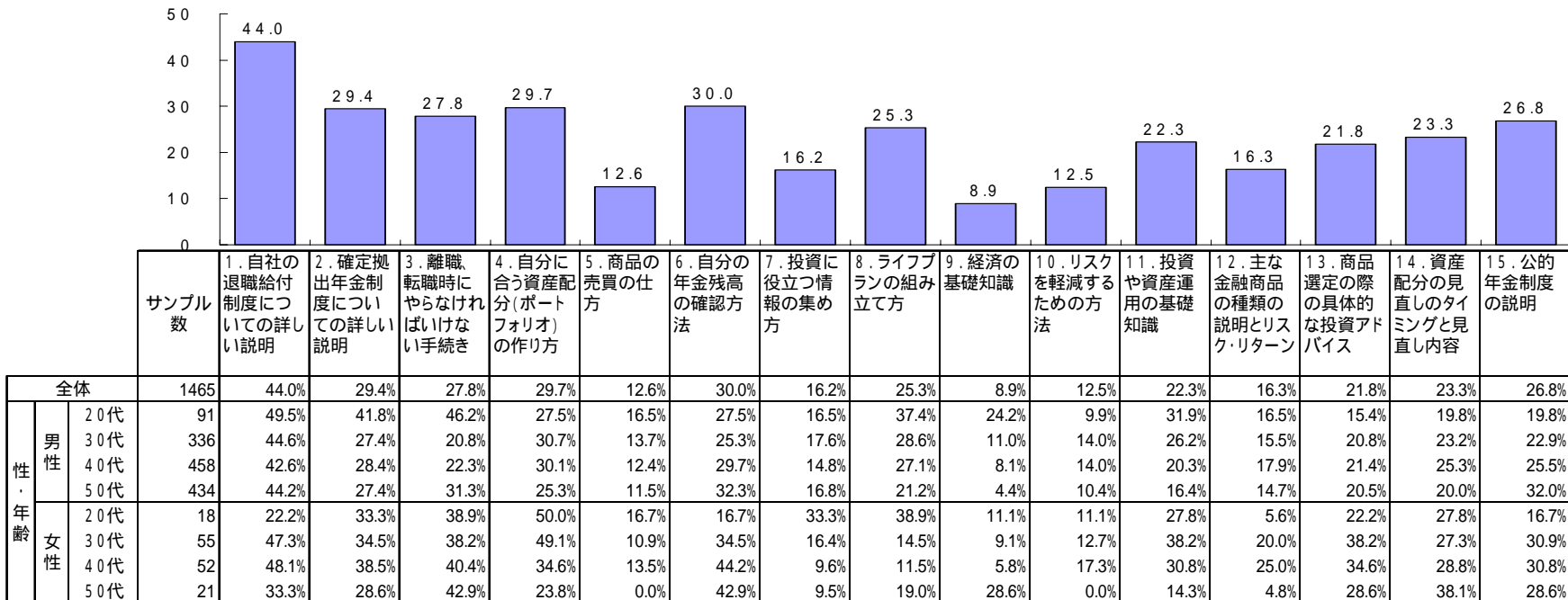


・実施回数

	導入時教育	継続教育
1回のみ	74.1%	67.1%
2回以上	25.9%	32.9%

平成18年10月「確定拠出年金に関する実態調査」(企業年金連合会)

# 投資教育において加入者が求めている情報の内容について



「自社の退職給付制度についての詳しい説明」という基本的な情報内容が、4割強で最も高くなっている。次いで、「老後の必要額・不足額の試算シミュレーション内容」という項目も自覚・理解の促進(サポート)として比率が高くなっている。

「NPO確定拠出年金教育協会の調査」より

(MA)